

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	山岳救助での強雨時における要救助者搬送中に発生した転落危険事案
3. 体験した事例の中心的要素	胸痛を訴え歩行できなくなった要救助者の救出のため、徒歩にて入山。視界不良により消防防災ヘリコプターは飛行不可能であった。要救助者に接触すると要救助者は心筋梗塞及び雨に濡れたことによる軽度の低体温症の症状が認められたため、素早い搬送が必須であった。そのため要救助者にキャリングラック(背負い搬送資機材)を縛着、立ち木確保要領により搬送を開始。搬送途中、要救助者を背負っていた隊員が登山道に設置されていた枕木に足を滑らせバランスを崩す。しかし、確保していた隊員、周りで補助していた隊員の素早い対応により隊員及び要救助者を地上に落とすことはなかった。
4. 体験した事例の原因・理由	・隊長の判断ミスにより搬送隊員の交代が遅れ、搬送隊員の思考能力の低下した。 ・隊長が隊員の体力を把握できていない。 ・隊員の山岳救助の経験不足。 ・天候不良。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成28年9月18日 午後2時頃
2. 発生した当時の天候	雨
3. 発生した活動現場	屋外: 山岳(標高約1,200メートル)
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落、転倒
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	人命検索・救出
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[37]歳、勤続年数[18]年、現場経験年数[13] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[25]歳、勤続年数[7]年、現場経験年数[7] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

●●●

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者Aが	当事者Bの搬送交替時期を誤った	
経過2	当事者Aが	当事者Bの体力を把握していなかった	
経過3	当事者Bの	山岳救助の経験が不足していた	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた 危険事象の対応方法を知っていた 集中力、注意力があった 資機材の操作がうまくいった 周囲の視界が確保できていた 後方からの監視の目が行き届いていた 他隊(員)との連携活動がうまくいった その他:2系統の確保を実施していた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

現場活動図面

